

## 平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月14日

上場会社名 株式会社 インサイト  
 コード番号 2172 URL <http://www.poi.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 浅井 一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 工藤 禎  
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 札

TEL 011-233-2221

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	1,248	—	47	—	61	—	30	—
23年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年6月期第3四半期 30百万円 (—%) 23年6月期第3四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	59.09	—
23年6月期第3四半期	—	—

(注) 平成24年6月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年6月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第3四半期	708	448	63.3
23年6月期	—	—	—

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 448百万円 23年6月期 1百万円

(注) 平成24年6月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年6月期の数値については記載していません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	25.00	25.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,592	—	30	—	59	—	34	—	66.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成24年6月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載していません。

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期3Q	520,000 株	23年6月期	520,000 株
24年6月期3Q	ー株	23年6月期	ー株
24年6月期3Q	520,000 株	23年6月期3Q	520,000 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(6) 重要な後発事象 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、業績数値の前年同四半期との比較は行っておりません。

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況が続いていますが、生産活動、設備投資、雇用動向、企業の業況判断などには改善の動きみられるようになり、緩やかに持ち直しています。

一方、北海道経済におきましては、雇用環境は厳しい状況にあるものの改善傾向にあります。依然として公共投資の減少傾向が続いているほか、個人消費、住宅投資、観光などに厳しい状況がみられるようになるなど、持ち直しの動きにも鈍化がみられるようになりました。

このような環境の中、当社および当社の関係会社(当社グループ)では、主要事業セグメントであるプロモーションパートナー事業において、引き続き新規クライアント企業の獲得並びに既存顧客からの受注の拡大に努めて参りました。また、第2四半期より、プロモーションパートナー事業による収益を補完するべく、当社グループの主たる事業地域である北海道の経済環境の影響を受けにくい分野における収益基盤を追加する目的で、新たに債権投資事業を開始し、概ね計画とおり推移しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は1,248,791千円となり、売上総利益は266,699千円、営業利益は47,065千円となりました。受取利息等の計上により経常利益は61,042千円、四半期純利益は30,724千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメント別の業績の状況は次のとおりです。

#### ①プロモーションパートナー事業

当社グループの主要事業分野である広告業界においては、経済環境の刺激政策とその効果などもあり、企業業績の回復基調を反映してインターネット広告の増加及びマスメディア4媒体の広告費に回復傾向が見られました。しかし、個人消費に一定の回復はあるものの、国内外の不安定な情勢や将来的な不透明さを反映して、消費の二極分化など消費傾向に変化があり、各企業の広告戦略の内容見直しや抑制傾向は続いております。

このような環境の中、引き続き新規クライアント企業の獲得並びにインターネットを含む分野において積極的に営業活動を展開し、既存顧客ならびに新規顧客からの受注機会の拡大に努め、継続してスタッフの増員、社外との協力関係の拡充等を積極的に進め、企画提案力の一層の強化を図って参りました。

なお、平成23年12月28日公表の「連結決算開始に伴う平成24年6月期連結業績予想に関するお知らせならびに業績予想の修正に関するお知らせ」に記載いたしました、パチンコホール業におけるイベント広告宣伝規制強化による広告の大幅な減少が継続している状況です。その影響を最小限にとどめるべく、同業種クライアント企業へ広告戦略刷新の企画提案を強化しております。また、このパチンコホール業の売上高減少を補うべく、同業種以外の分野においての企画提案ならびに営業活動の強化に取り組んで参りました。まだ、その減少分を補うには不十分ですが、市場の回復と営業による効果が徐々に現れている状況となりました。

品目別の売上高は次のとおりであります。新聞折込チラシの売上高559,205千円(前年同期比23.0%減)、マスメディア4媒体の売上高209,185千円(同13.4%減)、販促物の売上高357,444千円(同8.1%増)、及びその他品目の売上高52,940千円(同29.1%増)となりました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,178,776千円となり、セグメント利益は96,837千円となりました。

#### ②債権投資事業

当社グループの債権投資事業は、不良債権化した金融債権のセカンダリー市場において投資対象債権を購入するものであります。不良債権の流動化マーケットとして、金融機関等から市場へ出る金銭債権は近年低調ではありますが、年間20兆円以上がサービサーへ譲渡されている状況であります(平成24年4月27日付 法務省 統計調査債権回収会社(サービサー)の業務状況について：出所)。平成24年2月10日付金融庁が公表した不良債権(金融再生法開示債権)の状況によれば、その残高は平成23年9月期には全国銀行合計で11.6兆円となっており、平成23年3月期の11.5兆円に比べ0.1兆円増加しており、金融機関が未だ一定の残高を保有していることから、今後も継続的に不良債権の処理市場は一定規模で推移することが想定されます。

第2四半期連結会計期間において、セカンダリー市場において売買される債権の集合体(グループ債権)を新たに2件購入いたしました。当該債権の回収金額を売上高とし、当第3四半期連結累計期間の売上高は55,036千円となり、セグメント利益は25,666千円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は708,849千円、負債の残高は260,118千円、純資産の残高は448,730千円となり、自己資本比率は63.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年6月期の連結業績予想につきましては、平成23年12月28日付「連結決算開始に伴う平成24年6月期連結業績予想に関するお知らせならびに業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社インベスト並びに同社が発行済全株式を取得した株式会社MKガンマ及び株式会社MKデルタを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間  
 (平成24年3月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	294,944
受取手形及び売掛金	183,623
制作支出金	5,795
買取債権	81,874
繰延税金資産	3,746
その他	81,519
貸倒引当金	△2,200
流動資産合計	649,303
固定資産	
有形固定資産	10,788
無形固定資産	3,595
投資その他の資産	
繰延税金資産	2,128
その他	43,903
貸倒引当金	△870
投資その他の資産合計	45,161
固定資産合計	59,545
資産合計	708,849
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	184,994
短期借入金	30,000
未払法人税等	10,471
賞与引当金	5,128
その他	29,524
流動負債合計	260,118
負債合計	260,118
純資産の部	
株主資本	
資本金	135,500
資本剰余金	45,500
利益剰余金	268,331
株主資本合計	449,331
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△600
その他の包括利益累計額合計	△600
純資産合計	448,730
負債純資産合計	708,849

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
売上高	1,248,791
売上原価	982,092
売上総利益	266,699
販売費及び一般管理費	219,633
営業利益	47,065
営業外収益	
受取利息	9,356
受取配当金	279
保険返戻金	6,490
その他	247
営業外収益合計	16,374
営業外費用	
支払利息	39
固定資産除却損	1,140
その他	1,217
営業外費用合計	2,397
経常利益	61,042
特別損失	
関係会社株式評価損	3,000
特別損失合計	3,000
税金等調整前四半期純利益	58,042
法人税、住民税及び事業税	29,167
法人税等調整額	△1,848
法人税等合計	27,318
少数株主損益調整前四半期純利益	30,724
四半期純利益	30,724

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

		当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	30,724	
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98	
その他の包括利益合計	98	
四半期包括利益	30,822	
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,822	

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	プロモーション パートナー事業	債権投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,178,776	55,036	1,233,813	14,978	1,248,791
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,178,776	55,036	1,233,813	14,978	1,248,791
セグメント利益	96,837	25,666	122,504	△4,241	118,262

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インターネット通販事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	122,504
「その他」の区分の利益	△4,241
セグメント間取引消去	570
全社費用(注)	△71,766
四半期連結損益計算書の営業利益	47,065

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社インベスト並びに同社が発行済全株式を取得した株式会社MKガンマ及び株式会社MKデルタが営む債権の買取、管理及び売却に関する事業を債権投資事業として、新たに報告セグメントの区分に追加することと致しました。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。